

| | | | |
|-----------|--|-------|-------|
| 講義名 | 観光地理学 | | |
| 科目区分 | 学部フリーゾーン | | |
| 担当教員 | 山川 拓也 | | |
| 開講期・曜日・時限 | 後期 水曜日 3時限 | | |
| | 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / | | |
| 履修開始年次 | 1年生 | 単位数 | 2 |
| | | 講義コード | 33013 |

主題と概要

近年では、地域活性化の手段として観光が脚光を浴びています。観光地理学は地理学のなかでも比較的新しい研究分野です。地域における観光関連産業の発達、観光地化にともなう生活や文化の変容、観光活動が地域に与える影響などが研究されており、究極的には観光地の地域性を明らかにしていくことが目的です。授業では、様々な観光資源の特色ならびに観光地の地域性に関する基本的な理解を通して、地域資源を活用した観光まちづくりや観光地域マーケティングへと繋がる気づきを得ることを目指します。

到達目標

授業での内容を踏まえて、様々な観光資源の特色ならびに観光地の地域性に関する基本的な理解と知識を得る。地域資源を活用した観光まちづくりや観光地域マーケティングへと繋がる気づきを得て、自分なりの言葉で表明・説明できるようになる。

提出課題

毎回の授業時に配布する『板書・要点記入シート』（出欠確認を兼ねるので、翌週の授業で提出してもらいます）

評価の基準

平常点（出欠確認を兼ねた毎回の課題提出と記述量）： 30%
 定期試験： 70%
 上記基準をもとにした総合評価とします。尚、正当な理由なき遅刻や早退、スマホなど電子機器類の無許可かつ私的な使用、私語・睡眠・着帽の継続、その他、教員からの指示に従わないなどについては、受講態度不良・授業妨害行為と判断し、上記とは関係なく成績評価に重大な影響を及ぼします。

履修にあたっての注意・助言他

「楽しく真面目に、真面目に楽しく」を心掛け、授業を行っていきたいと思います。ただ、これを実践して成功させようとする場合は、教員が一方的に授業を展開するのではなく、履修する学生の皆さんとの共同作業で創り上げなければなりません。大学という「学びの場」に相応しい環境を提供するためにも、皆さんの積極的な協力を宜しく願います。また、演習形式の際はグループワークが中心となりますので、各自の責任を全うするようにしてください。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

プリント資料： 各時間、「板書・要点記入シート」を配布し、講義形式の際にはパワーポイントを使用して授業を実施する。
 参考文献： 講義中に適宜紹介する。

授業計画

1. ガイダンス（科目ならびに授業の概要説明）、地域資源と観光資源との関係 観光地理学の視点と論点
2. 世界遺産について
3. 無形文化遺産について
4. 観光資源としての「自然資源」（日本 / 関西 / 神戸）
5. 観光資源としての「自然資源」（世界）
6. 観光資源としての「人文資源 - 有形文化資源」（日本 / 関西 / 神戸）
7. 観光資源としての「人文資源 - 有形文化資源」（世界）
8. 観光資源としての「人文資源 - 無形文化資源」（日本 / 関西 / 神戸）
9. 観光資源としての「人文資源 - 無形文化資源」（世界）
10. 観光資源としての「複合資源」（日本 / 関西 / 神戸）
11. 観光資源としての「複合資源」（世界）
12. 観光資源としての「施設資源」（日本 / 関西 / 神戸）
13. 観光資源としての「施設資源」（世界）
14. 地域における「観光資源」概念の再検討
15. まとめ（地域資源と観光資源との関係・再論）

予習・復習

（予習） 地域資源を活用した観光まちづくりや観光地域マーケティングに関する話題・事例に関心を持ち、情報収集のアンテナを張るようにしてください。
 （復習） 授業時に配布する『板書・要点記入シート』を整理し、復習に努めてください。出欠確認・課題を兼ねるので、翌週の授業で提出してもらいます。

備考